

“夢と平和” かがやけ九条！

60周年記念 2008年



# HEY! 輪っしょいふん

日本のうたごえ祭典in東京

祭典実行委員会ニュースVol.10

2009年 2月 9日

【発行】60周年記念2008年日本のうたごえ祭典in東京」実行委員会・広報宣伝  
【事務所】〒169-0072 新宿区大久保2-16-36 東京のうたごえ協議会内電話 03-3200-4977  
ホムページ <http://utago60.main.jp/> /メール [utago60@ky.main.jp](mailto:utago60@ky.main.jp)

## うたごえは未来の力！

18000人が交流(大音楽会9000人参加)した

## 「60周年記念 2008年日本のうたごえ祭典in東京」 大成功を確認！

### ☆ 最終実行委員会(2月1日)を開催

60周年記念日本のうたごえ祭典 運営委員長  
轟 志保子



「60周年記念 2008年日本のうたごえ祭典in東京」から2ヶ月がたちました。

2004年の開催検討から含めると、実にあしかけ5年にわたる準備期間をかけて作り上げた祭典でした。「東京で開催するなら東京のうたごえの一つひとつのサークル合唱団、一人ひとりが主人公となり、自分のこととしてとりくむ祭典にしよう」「論議を尽くし、決めたことには団結しきろう」と東京の仲間で決めた祭典。「うたごえの仲間内だけでなく、圧倒的多数の都民が参加する祭典にしよう」と次第に意気があがり、「企画懇談会」「祭典大みんな語る会」などで大いに語り合っただけでなく、夢が原動力となりました。「今こそ、平和憲法を守り輝かせる祭典を」との思いを、協力して下さった方々、一緒に歌って下さったみなさんとともに心熱い大合唱で実現することができました。

「お江戸のにぎわいコンサート」「60周年記念音楽会」はともに満席、「大音楽会」も9000人の参加を得て「あの有明コロシアムが埋まった！」という快挙を生み出すことができました。「今、日本でこの規模の文化的企画を成功させた力はすごい。平和や暮らしを守る様々な運動を励ました！」と周囲からも評価を頂きました。

年末年始「年越し派遣村」の活動が政府を動かしたことや、ここ数年の「9条の会」の広がりが平和憲法を守ろうという世論を高めていることなど、「多数の民の力が世の中を変えていく」という実感が広がっています。今回のうたごえ祭典も、音楽を通じて多くの人の願いを結び合い、発信する場になったと思いますし、またこのうねりをさらに大きくしていく端緒になったとも言えます。もっと大勢の人たちと一緒に歌い、都民規模のうたごえを響かせたい。

「派遣村」がなくすような日本にしていきたい。そのために、もっと労働組合や様々な運動の方たちとともにとりくみたい…。今回の祭典でやり切れなかったこと、もっとやりたかったことをこれからの活動で実現していこう！と2月1日の最終実行委員会でも多くのみなさんの発言がありました。祭典の成功は、さらに新たな額に向う勇気と希望を生み出しました。そして「東京がひとつ」になってとりくんだ連帯の力。これからの東京のうたごえの活動に生かし、また一緒に進んでいきましょう。

最後になりましたが、準備段階から祭典当日まで支えて頂いた様々な団体のみなさん、音楽専門家のみなさん、また「祭典総監督」として一方ならぬ応援をして下さった池辺晋一郎さん、そして首都圏はじめ全国のうたごえのみなさまに、重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

#### ■新日本婦人の会 安達さん

素晴らしい祭典の成功おめでとうございました。うたごえ祭典に行きたいと20数年思い続けていたが初めて参加。東京開催ということで担当になり、選挙とぶつかるかどうか悩ましい時期だったので、新婦人として十分に力を発揮できたかと反省。一緒になって首までつかり、祭典の一員として参加の仕方に迷い、後方支援ができたかどうかと反省している。



大音楽会は、平和の力を認識、初めて参加した人もうたごえと平和が連携していることを認識しました。祭典に参加した人が熱く語り広まっている。会長もハマった様子です。栃木の皆さんはバスで参加し、みんなが元気になった。東京の小组の人が方針に掲げられてくれたので活動しやすくなりありがとう。の発言があった。準備活動の大本で組み込ませていただけたらもっと力が発揮できると思います。今年の京都は母親大会や、大きな大会が集中しています、力を合わせて大きな広がりになりたいと思います。



・組織ニュース、はじめはおとなしかったが、最後はきついことを書いてあるナー！（大田組織委員長）



・派遣村の中で何を歌っていたのか悩んだ。派遣村に至る前の段階を食い止めなければならぬのでは、と考へ“一緒にいてあげる”という歌ができた（大熊企画事務局長）



・祭典終えても「派遣村」などの現実、池辺氏の言葉、「音楽は石を動かすことはできないけれど動かす力になる」というのが答えだと思う（杉森企画委員長）



・飴、お酒、タオル、栞皆さんの協力が祭典に貢献した。屋形船、当日の前後“どんちゃか”好評でホッ（斉藤事業企画委員長）



・手作りの旗（旗まつり）、横断幕、ハッピーが活躍した。ホームページは大変に有用、ぜひ活用されるよう工夫してほしい。（外山宣伝・広報委員長）



・青年たちが、事務所に毎日のように、つめて手伝ってくれたのは大きな力を発揮した。（大井事務局長）



・プロジェクトYは祭典が終わっても続けていく。うた新增やしはうたいながら楽しくやって行きたい。（横川プロジェクトY責任者）

## ★祭典を準備した各責任者の皆さん お疲れ様でした！



・すごく元気が出た、楽しい1年だった。“つながり”と違う東京らしさを（ダンス小泉さん）



・パートナーシッププロジェクトは岩本先生のキャラクターが生かされた。（パートナープロジェクト外宗像さん）



・組織を広める人を決め、最後はメールニュースを日報で流した。（宇津野青年プロジェクト）



・記念音楽会を成功させた（島袋副運営委員長・三多摩）



・公共一般にサークル誕生。運動が広がった（北出「人間の歌」事務局長）



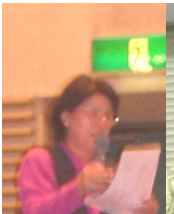
・裏方に徹するスタッフが必要（小島お江戸のにぎわい事務局長）



・若い人が育っています郷土歌、太鼓は本当に楽しいよ！（鈴木郷土プロジェクト責任者）



・子供たちのところにどんな風に届けるか（山北そうれっしゃ責任者）



・花を持った1000人の女性のうたごえ綺麗だったでしょう。（大橋・川路女性のうたごえプロジェクト）



・「うたごえは未来の力」老若が手をつなぎ、発展していきましょう。（箕輪港地域責任者）



・祭典組織部事務局長としても北部の目標100%は必ず達成しようと心に決めていました。（北部山田、五十嵐さん）

## 祭典を成功させた、地域・企画プロジェクトの皆さんの一言



・うたごえ以外の人に感動してもらうために、練習を積むことが大切。祭典で終わりでないと思う。（佐宗東部地域責任者）



・指示通りにまじめに通路に立ち続ける人がいたり、難儀した。（高齢者のうたごえ杉山年金者組合東京都本部文化部長・市川・本谷さん）



・うたごえ喫茶・酒場を地道に開催したい、南部うた協に2団体が加盟。（南部加山さん）



・うたごえと労働組合ががっちり組んでいないのは残念。（三多摩南水谷さん）



・「ねがい」の歌を広めることができ良かった。選曲には工夫を。（ゴスペルプロジェクト三多摩 会沢さん）



・議長、今日の意見を総括の中に生かして行きたい。（武田事務局次長）



・1200に届かなかったことは残念、「集まるのが力になる」事を実感できた（三多摩 井上さん）